

韓国メディアも注目

町国際交流協会会長「町は説明をすべき」

琴浦町が、同町別所の日韓友好交流公園「風の丘」に設置してある韓国江原道交流記念碑の「説明碑」から、「東海」の文字を削ったことについて九日、同町国際交流協会の山内勉会長は「削つたことを理由に、交流が妨げられてはならない」と、さらなる交流に向けて意欲を示した。町に対して町民から賛否の意見はまだ直接届いていないというが、韓国メディアも関係機関に問い合わせするなど事態の推移に注目している。

同町は、韓国との交流事業を積極的に推進して韓國の建つ「風の丘」は、明碑の建つ「風の丘」は、とで交流に影響はないと考えている。「東海」の呼称を知らない人も多い本紙の記事で「東海」韓交流はしっかりと続けてほしい」と意見を述べて

おり、合併前の旧東伯町、赤崎町時代から継続して韓国の麟蹄（インジエ）、蔚珍（ウルチン）両郡と交流している。説

町民 慎重な判断必要だつた／交流は続けて

琴浦「東海」問題削除

一方、民團鳥取県地方本部（鳥取市）の事務所には、韓国のマスコミや領事館から事実関係の問い合わせが相次いだ。韓国の有力紙、中央日報や朝鮮日報などの韓国メディアも注目、東京支社の記者などが情報収集に努めていた。同本部の薛幸夫（ソル・ヘンプ）団長

は同日、現地を訪ね、文字が削除されているのを確認したが、「まずは県や町から事実を聞き、それから問い合わせに回答したい」と話した。町に對して抗議文の提出も考へているという。

別の町民は「政府の見解に沿えば『東海』の文字は不要かもしれない。日韓交流はしっかりと続けてほしい」と意見を述べて

山内会長は「今回のことは、町は、削つた削除を知ったという町民